

2021年2月15日発行

Vol.88

ろ ん ど

長崎県音楽連盟事務局

〒850-0056 長崎市恵美須町4-5
NBC第3ビル2F

Tel&Fax 095-820-1081

ホームページアドレス<http://www.n-rond.jp>

メールアドレス nma@onyx.dti.ne.jp

文化庁支援事業

「蝶々夫人名曲集 & 長崎のウタ」コンサート開催！



12/9 シーハットおおむら 公演



12/10 長崎ブリックホール 公演



12/11 アルカスSASEBO 公演



12/11 アルカスSASEBO 公演

音楽連盟は、長崎OMURA室内合奏団と協力して、文化庁の支援を受ける形で、12月9～11日の3日間、「蝶々夫人名曲集 & 長崎のウタ」コンサートを、大村、長崎、佐世保の3会場で開催した。事業名は「戦略的芸術文化創造推進事業」～別名「ジャパン・ライブ・エール・プロジェクト」、名称はやや仰々しいが、主旨はコロナ禍でも、感染対策をキチンとやって開催するコンサートを応援するという有難い内容。長崎らしいコンサート内容を提案して、開催が実現した。当然3会場とも、感染対策をきっちり対応し、検温・消毒・マスクだけでなく、入場者の名前の把握ができるようにした。コンサートの内容はタイトル通り、オペラ「蝶々夫人」のアリアを、オペラ協会・新演奏家協会のソリストの皆さんが、長崎OMURA室内合奏団の演奏で、オペラの舞台さながらに歌い上げ、観客を魅了した。「ながさきのウタ」は去年結成30年を迎えた「木管アンサンブルPOE」が、軽妙なトークとともに、それぞれの街にちなんだ曲で会場を沸かせた。

ポエのメンバーでもある、“いっちゃん”こと市原隆靖さんは、3会場とも全体の司会、ナレーションも担当されていたが、その安定して暖かい話しぶりは、会場をより和やかに包んでいた。その他、各会場とも、地元の合唱団が、長崎のわらべ歌や地元になんだ曲を披露。それも、マスクやフェイスシールドを着用してのステージだった。

そしてコンサート最後は、長崎OMURA室内合奏団の演奏。ベートヴェンの生誕250年にちなんだ「交響曲第7番（第1楽章）」などおなじみの曲を、素晴らしい演奏で盛り上げ、フィナーレを飾った。今考えると、この12月中旬は、県内3か所で、コンサートが開催できるギリギリのタイミングで、12月下旬から、県内も感染拡大で多くのコンサートが中止になった。困難な時期にこのコンサート開催にご協力いただいたみなさんに改めて感謝を申し上げたい。1日も早く、安心・安全にコンサートができる日が来ることを願って！

< 理事長 河野英雄 >